

町会報

えひめ

2018

7

Vol.112

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

平成30年7月豪雨災害に関する緊急要望	2~5
愛媛県町村議会議長会第2回全員協議会	6
愛媛県町村議会議長会第1回臨時総会	6
四国四県町村監査委員協議会研修会	7
第1回町議会議員研修会	7
一筆	8
7月の行事	8
編集後記	8

愛南町のイベント紹介

毎年5月に開催する「ぎゅぎゅっと愛南!夏の陣」は、初夏の味覚が味わえる町最大の食のイベント。県内唯一のカツオ水揚げ基地「深浦漁港」で水揚げされる「初カツオ」や、初夏の柑橘「愛南ゴールド」をはじめとした特産品が勢ぞろいします。

10月には町内外のご当地グルメをそろえた「愛南まるごち秋の味覚祭」、2月には愛南かきや寒ブリ、地元の郷土料理が味わえる「ぎゅぎゅっと愛南!冬の陣」を開催しています。

四季を彩る食のイベントで、愛南の「海の幸」「山の幸」をお楽しみください。

豪雨災害に関する緊急要望活動

全国町村会

- 田畑裕明厚生労働大臣政務官
- 毛利信二国土交通事務次官
- 奥原正明農林水産事務次官
- 山本昌宏環境省環境再生・資源循環局長

愛媛県町村会の清水雅文会長（愛南町長）は、7月11日愛媛県町村会事務局で全国町村会の荒木泰臣会長（熊本県嘉島町長）へ愛媛県内の被害状況等を説明。

7月19日、全国町村会は、「平成30

年7月豪雨災害」により、広大な範囲にわたり甚大な被害が発生していることを踏まえ、荒木泰臣全国町村会長及び岡山県の山崎親男町村会長（鏡野町長）、広島県の吉田隆行町村会長（坂町長）及び愛媛県の清水雅

文町村会長で、国等に対して緊急要望活動を行った。
なお、緊急要請先等については、次のとおり。

- 野田聖子総務大臣
- 松村祥史自由民主党幹事長代理



荒木全国町村会長（左）へ被害状況等を説明する清水愛媛県町村会長（中央）



総務省 野田総務大臣（中央）



自由民主党 松村幹事長代理（中央）



松野町 広見川洪水状況（庁舎から虹の森公園を望む）

平成30年7月豪雨災害に関する緊急要望

台風第7号及び梅雨前線等に伴い、西日本を中心に観測史上記録的な降水量を記録した「平成30年7月豪雨」は、多数の府県の広大な範囲に甚大な被害をもたらした。

この豪雨により、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、220名を超える尊い命が失われるとともに、いまだに多数の行方不明者の捜索活動が続いている。被災地域では、膨大な数の住家被害とともに上下水道等のライフラインや道路・橋梁・線路等交通インフラの寸断、農林漁業・企業の産業基盤の甚大な被害などにより、広範囲にわたり極めて多くの被災者が生活の困難に直面するとともに、地域経済への深刻な影響も現れてきている。また、猛暑の中で避難所での生活を余儀なくされている被災者も多数おり、心身の健康への二次被害も強く懸念される。

国においては、消防、警察、自衛隊等が早期に出動し、全力で救助救援活動に携わるとともに、省庁横断の「被災者生活支援チーム」をはじめとする各般の支援体制を速やかに構築していただいたところであるが、被災市町村においては、これまでにない広範かつ甚大な被害の様相に加え、中山間地域や離島等も抱え、さらに人員や財政基盤が脆弱な団体も多いことから、国による力強い支援が不可欠である。

よって国においては、現下の被災地域の状況にかんがみ、以下の項目について万全の措置を講じるとともに、このうち特に補正予算等が必要となるものについては早期に措置していただくよう、強く要請する。

記

1. 行方不明となっている方々について、早期の探索救助に全力を挙げること。
2. 被災地域の状況に応じて、飲料水、食料、医薬品、生活用品等必要な物資の確保・早期送達を行うこととともに、各避難所等の環境改善に向けた取組みを支援すること。
3. 上下水道等のライフライン及び道路、鉄道等の交通インフラの早期復旧に全力を挙げること。
4. 不安を抱える中、避難を余儀なくされている住民の生活支援等を行うため、自衛隊や国の職員による幅広い支援を継続すること。
5. 児童・生徒、高齢者、障害者をはじめとする被災者の心のケアについて、十分な支援を講じること。
6. 膨大に発生し、災害復旧及び衛生・防災上の支障となる災害廃棄物を早急に処理するため、被災地域の状況を踏まえ、市町村に代わり国による処理代行を迅速に行うとともに、被災市町村の負担費用について必要な財政上の措置を講じること。
7. 災害対策基本法に基づく激甚災害の指定を早期に行うこと。
8. 被災市町村における仮設住宅の早期建設、被災者の住宅の再建等に向け、全面的な支援を行うこと。
9. 農林漁業関係施設（田畑、園芸施設、漁港等）をはじめ、中小企業・小規模事業者等にも甚大な被害が発生し、今後の生産活動等への深刻な影響が懸念されることから、被災生産者等への十分な支援を行うこと。
10. 被災町村の財政負担の急増に対処するため、特別交付税等による十分な財政措置を講じること。
11. 災害復旧事業及び災害関連事業予算の確保並びに災害復旧事業の財源となる地方債所要額の確保を行うとともに、当該地方債に係る交付税措置の拡充を図ること。
12. 被災者生活再建支援法について、対象となる被災世帯を「半壊」など日常生活に大きな支障が生じる世帯にも拡大すること。
13. その他、被災者の一日も早い生活再建に向けて、迅速かつ万全の支援を行うこと。

平成30年7月19日

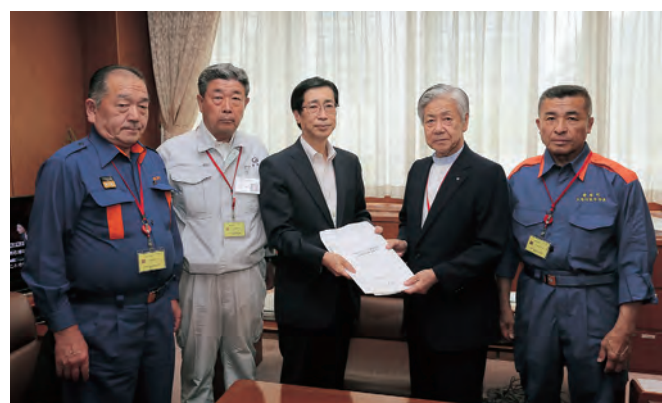
全国町村会長 荒 木 泰 臣



厚生労働省 田畑厚生労働大臣政務官（中央）



国土交通省 毛利国土交通事務次官（中央）



農林水産省 奥原農林水産事務次官（中央）



環境省 山本環境再生・資源循環局長（中央）

豪雨災害に関する緊急要望を提出・要請

全国町村議会議長会

早期復旧、⑥被災自治体に対する人的支援の6項目で、被災地の復旧・復興に向けて万全の措置を講じるよう要望。

なお、本県の程内会長（鬼北町議長）は全国会理事として出席した。

全国町村議会議長会は、7月19日政府・政党に対して「平成30年豪雨災害に関する緊急要望」を行った。

要請は、①激甚災害の早期指定、②被災地との連携の強化、③被災町村への支援の強化、④被災者支援施策の充実・強化、⑤ライフライン等の



総務省 奥野総務副大臣（右から2人目）



鬼北町 水路の氾濫により町道久保川線が損壊



総務省 黒田自治財政局長（右から2人目）



自由民主党 松村幹事長代理（右から2人目）

平成30年 7月豪雨災害に関する緊急要望

台風第7号及び梅雨前線等による豪雨は、西日本を中心として全国各地に甚大な被害をもたらしている。

この豪雨により、河川の氾濫、堤防の決壊、土砂崩れ等重大な災害が発生し、多くの尊い命が奪われたほか、多数の住民が避難生活を余儀なくされ、厳しい生活が強いられている状況の中、家屋の全半壊、道路・鉄道の損壊、電気・水道といったライフラインの寸断により、住民の不安は日増しに増大しているうえ、農林水産業や地場産業に大きな被害が発生し、住民生活に重大な影響を及ぼしている。

今後、被災町村では、復旧作業に全力で取り組むこととなるが、財政基盤の脆弱な町村においては、災害復旧に充てる経費にも限度があり、その対応には困難を極めるものとなる。

よって、平成30年 7月豪雨災害については、早期の被災者支援及び復旧対策を進めるとともに、地域の住民の安全確保を図るため、次の措置を講じるよう強く要望する。

記

1 激甚災害の早期指定

今回の豪雨災害を激甚災害法に基づく激甚災害に早期に指定すること。

2 被災地との連携の強化

早期の被災者支援及び復旧を進めるため、被災地の状況をしっかり把握して速やかな対策を講じるために、被災地との連携を一層強化すること。

3 被災町村への支援の強化

被災町村においては、避難所生活の環境整備をはじめ、被災者の救援について支障を来たすことないよう、あらゆる手段を講じ、被災町村への支援を強化すること。

また、普通交付税の繰り上げ交付について早期に対応いただいているが、今後の災害救援、災害復旧などの財政需要に対しては、特別交付税等において十分な措置を講じること。

4 被災者支援施策の充実・強化

豪雨により生活基盤を失い、厳しい環境で生活再建に取り組んでいる被災者に対し、保健・医療・福祉、教育など生活全般にわたるきめ細かい支援を機動的に実施すること。

5 ライフライン等の早期復旧

被災者の避難生活や今後の生活復旧にあたっては、電気、水道や通信環境等のライフラインは必要不可欠であることから、一刻も早い復旧に向けた最大限の支援を行うこと。

また、今回の豪雨により大きな被害を受けた道路・橋梁等の公共土木施設、農林水産業施設、学校教育施設等の早期復旧と財政措置を含めた支援措置を講じること。

6 被災自治体に対する人的支援

県内外から人的支援として行われている職員派遣については、派遣元・派遣先自治体ともに財政負担が生じないよう万全の措置を講じること。

平成30年 7月19日

全国町村議会議長会

第2回全員協議会を開催

県町村議会議長会

愛媛県町村議会議長会は、7月24日県自治会館で「平成30年度第2回全員協議会」を開催した。

会議には、県内9町議会議長が出席し、次のとおり進められた。

- 1 開 会
- 2 あいさつ 程内会長
- 3 会議録署名人の指名

程内会長が議長となって次のとおり指名した。

八束松前町議長
山本伊方町議長

4 報 告

- (1) 行事関係について
- (2) 平成30年豪雨災害に関する緊急要望について
- (3) 請願・意見書等に関する定例報告について

以上の3点について事務局から一括説明があり、一同了承した。

5 協 議

- (1) 副会長の辞職について
瀧野副会長から一身上の都合により辞職願が提出され、許可した。

なお、副会長が欠けたことから補欠選挙を行うため、会議を暫時休憩し、臨時総会を開催す

ることとした。

- (2) 平成30年度「議長研修会（市町村アカデミー研修受講）」及び東日本大震災被災地復興状況視察について

事務局から実施要領について説明があり、一同了承した。



- (3) 第62回町村議会議長全国大会について

事務局から説明があり、一同了承した。

- (4) その他

次回全員協議会について

6 閉 会

事務局から説明があり、協議の結果、第3回全員協議会を内子町で開催することに決定。細部については正副会長に一任された。

第1回臨時総会を開く 副会長に 八束松前町議長を選出

県町村議会議長会

愛媛県町村議会議長会は、瀧野副会長が辞職したことから、第2回全員協議会を臨時総会に切り替え、副会長の補欠選挙を行った結果、松前町議会議長の八束正氏を選出した。任期は、平成30年7月24日から平成31年6月2日間での残任期間。



副会長
八束 正 氏
(松前町議会議長)





四国四県町村監査委員協議会 研修会を開催

四国四県町村監査委員協議会研修会が、7月12日(木)午後2時から香川県琴平町の『琴参閣』で、四国四県町村監査委員ら153名(本県28人)が出席の下、盛大に開催された。

研修会は、はじめに地元香川県町村監査委員協議会の石田会長が開会の挨拶を述べたのち、ただちに研修に入り、愛媛県砥部町代表監査委員の影浦浩二氏を講師に、「例月出納検査の視点―検査目的の分解と体系的整理―」と題して、約3時間の講演を聴講した。

最後に、次期開催県である高知県町村監査委員協議会の朝日会長の閉会挨拶があり、午後5時10分研修会を終えた。

なお、研修会終了後には、同所で四国四県の監査委員相互の交流を深めるための交流会が開催された。



第1回議員研修会を開催

県町村議会議長会

平成30年度第1回町議会議員研修会が、7月25日(水)午後1時30分から『メルパルク松山』で、町議会議員ら約130人余が出席の下、盛大に開催された。

研修会は、まず山本監事(内子町議長)が開会のことばを述べたのち、程内会長(鬼北町議長)が挨拶を述べた。

次いで研修に入り、次の2氏からの講演を聴講した後に、午後4時30分に八束副会長(松前町議長)の閉

会あいさつで終了した。

〈講演〉

○ 演題 日本経済再生への

期待と不安

講師 京都大学こころの未来研究

センター特任教授

佐伯 啓思 先生

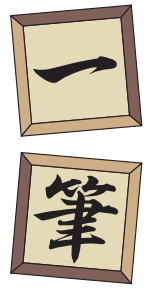
○ 演題 日本・朝鮮半島―

近未来に起きること

講師 作家 拓殖大学国際学部教授

呉 善花 先生





スーパームス!

この7月は、『今日は、暑かった!』ではなく『今日も暑い!』と早朝から騒がしいセミ群に叫びたいほどの猛暑の連日である。

先日の西日本豪雨は、本県はじめ広島、岡山県などに記録的な降雨、多数の尊い命を奪った。各地の被災者は、酷暑と対ししながら家屋、道路・上下水道などライフラインの破壊にめぐることなく日々の生活を取り戻すため復旧に懸命な毎日である。一方、地方経済の主軸である農作物等の被害は、明日からのやる気を奪ってしまうような状況にある。少しでも早く日常生活を取り戻されるよう念願のみである。

この夏、暑さを逆手にとった埼玉県の熊谷市では、23日に遂に国内歴代1位の41.1℃を記録した。因みに気温観測で40℃を超えたのは、本県宇和島市の40.2℃が最初とのこと。今や、40℃や体温を超える37℃超えが常時となり猛暑日や熱帯夜があたりまえのようになってきた。慣れたくない異変である。気温も、芝生を下にした風通しがよさそうな気温観測器場にあらず、日々の生活現場は極めて環境の悪い酷暑が多い、職種や一般屋外行動範囲では40℃超えがあたりまえの様相になってきた。連続38℃超えの記録日更新の京都では、

伝統文化「花笠巡行」が暑さで中止になった。この夏は、「暑さの指数」(気温1・湿度7・輻射熱2・環境省のホームページ)なるものが、気温以上に注意喚起にとつて変わりつつある。気温のみにあらずして湿度に健康の危険度重視である。

そもそもこの夏は、近年その傾向にあるが、北半球の各地が猛暑に襲われている。北極圏のフィンランドで30℃を超し、アメリカのカリフォルニアでは52℃、ロンドンの熱波など記録的な異常なニュースばかり。7月2日暦の上で「大暑」頃から8月中旬までが、日本の夏季で一番暑い時期とされる通年の「季」は年々早まり、春・秋季が短いような四季のバランスの異変を皆が感じる。台風12号は、かつてない動きで、東から西へ異例の進路をとっており、まさしく気候の異変は一気ではなく、徐徐に來ているのかも、異変は進行中……。

2100年の日本、未来の天気予報では、全国各地で40℃を超し、東京は40℃、高知県四万十市では44.9℃、台風は瞬間最大風速90kmの来襲(環境省発表)とある。

今は、現下の日本列島のうだるような暑さが早く収まることを願いたい、気候の異変はますますこれからであろう。自然の動きは、これから普通の流れとして受け止めるべきなのか……。それにしても此処のところの毎日、猛暑はスーパームスである。

(T)
「どん底まで落ちたと言えるうちは、まだ本底のどん底ではない」
(シェイクスピア 英国の劇作家)

7月の会と催し

- ▽2日 愛媛県農業信用基金協会第56回通常総会、サマージャンボ宝くじ販売促進PR
- ▽3日 平成30年度固定資産税家屋(木造)評価実務研修会(4日まで)
- ▽4日 全国山村振興連盟理事会、都道府県市町村振興協会事務局長会議、第53回海外地方行政調査団報告会、全国町村議会議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会、労働安全衛生業務担当者研修会
- ▽5日 全国町村会理事会・都道府県会会長
- ▽10日 平成30年度町村議会広報クリニク
- ▽11日 英霊にこたえる会愛媛県本部平成30年度理事会・評議員会会議(総会)
- ▽12日 平成30年度四国四県町村監査委員協議会研修会
- ▽13日 四国新幹線整備促進期成会東京大会
- ▽18日 全国町村議会議長会正副会長会、(一財)全国町村議員会館臨時理事会、全国町村議会議長会等理事会、西日本地区各県町村議会議長会協議会
- ▽19日 全国町村議会議長会都道府県会会長等、(二財)全国町村議員会館臨時評議員会、全国町村会平成30年7月豪雨災害に関する緊急要望、全国町村議会議長会平成30年7月豪雨災害に関する緊急要望
- ▽20日 平成30年度松山空港利用促進協議会総会
- ▽23日 県・市町連携推進本部会議、第61回愛媛県公立学校施設整備期成会定例評議員会
- ▽24日 四国開発幹線自動車道建設期成同盟会平成29年度決算監査、

編集後記

平成30年7月、西日本を襲った記録的豪雨により本県では26人の犠牲者が出るなど、甚大な被害が発生しました。犠牲となった方々に哀悼の誠を、被災者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

被災地では、いまなお復旧・復興に向けて懸命の作業が続けられていますが、被害の規模があまりにも大きく、また、折りからの厳しい酷暑が続く中で、思うに任せぬ状況と聞き及んでいます。

政府や自治体は、被災地と被災者の支援に全力で取り組んでほしいと願っています。

◇
こうした未曾有の惨事に対して、全国町村会や全国町村議会議長会から、また全国の各団体からご厚情あふれるご支援をいただきました。紙面をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。